

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

2021年2月1日 発行

■ 本号の内容

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 冬の町並みをイルミネーションが彩りました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



坂ノ上田村麿の伝説「林の大杉」（川内村）撮影日:2021年1月7日

当所では、原子力災害が発生した場合に、防災組織が有効に機能し、災害対応を的確に行えるよう、原子力防災訓練を繰り返し実施しています。

今回は、防災訓練の実施計画や訓練当日の対応状況を確認・改善している、防災安全グループのメンバーに話を聞きました。



訓練状況に合わせて大画面を切り替えている様子



対策本部全体の様子

地域のみなさまにご安心いただけるよう、引き続き対応力向上に努めてまいります

－業務について教えてください

私は毎月実施している原子力防災訓練に関する業務を担当しています。

当所では、原子力災害が発生した場合に備え、防災訓練を毎月実施しており、訓練当日は、災害発生に伴う「使用済燃料プールの水位低下」「外部電源の喪失」など、さまざまな状況を想定した上で対応を行っております。

訓練には100名を超える所員が参加しています。訓練中は「情報共有」「ルールに則った対応」等が適切に行われているか確認し、改善することで緊急時における対応力が向上出来るよう努めています。

－業務を行う上で心がけていることは

防災訓練の反省点・改善点を次回の訓練に確実に反映し、前回よりも適切に緊急時の対応が実施出来るよう、高みを目指して業務を遂行することを心がけています。

今後もさまざまな状況を想定した訓練を積み重ね、緊急時の対応力向上に努めてまいります。

引き続き「福島復興」が私たちの原点であることを忘れず、地域のみなさまにご安心いただけるよう日々の業務に取り組んでまいります。



防災・放射線安全部 防災安全グループ

筒田 明 (浪江町出身)

趣味：スポーツ観戦

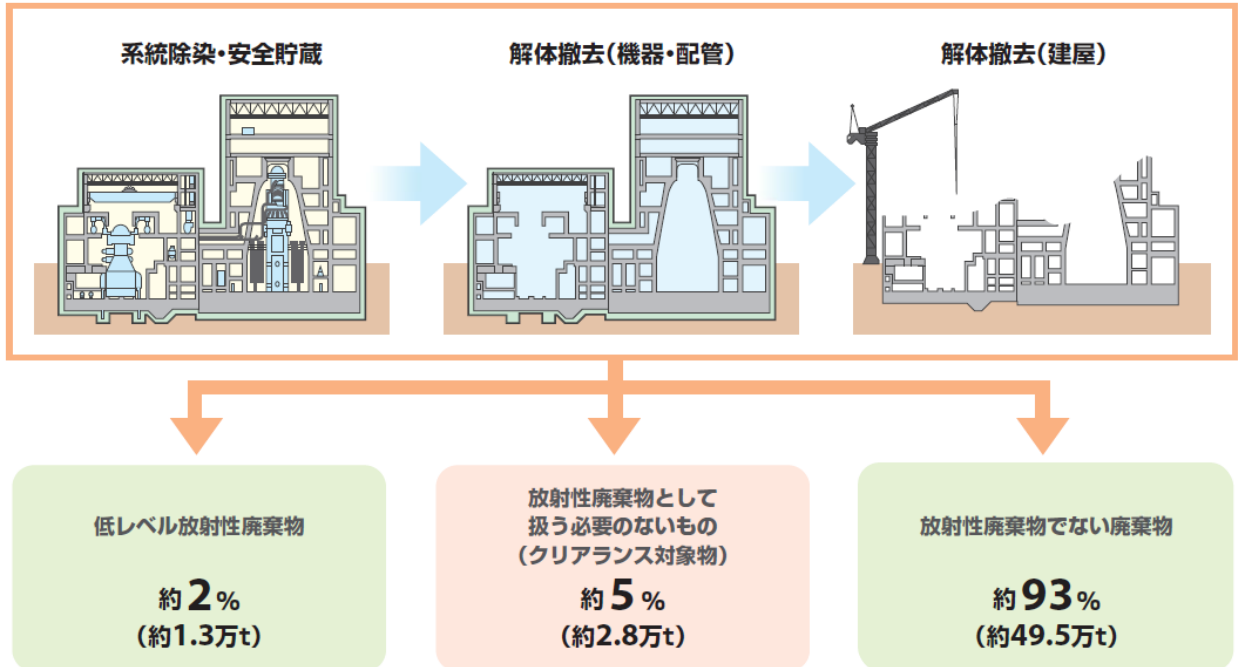
みなさまのご質問におこたえします

Q. 廃止措置により原子力発電所の解体廃棄物は、どのくらい発生しますか？

A. 当所と同程度の110万キロワット級の原子力発電所を廃止措置した場合、約54万トン（東京ドーム約半分）のコンクリートや金属の解体廃棄物が発生します。放射性廃棄物として扱う必要のあるものはごく一部で、放射能レベルに応じて処分します。大部分は放射性廃棄物として扱う必要のないもの（クリアランス※対象物）、または放射性廃棄物ではない廃棄物（NR）のため、できる限りリサイクル（再利用）していきます。

※クリアランスとは：放射性核種の放射能濃度が極めて低く、人の健康への影響がほとんどなく国の定める基準以下のものは、一般廃棄物と同様にリサイクル（再利用）や処分ができること。

【廃止措置のステップ】



◆数値は沸騰型原子炉110万キロワット級の原子力発電所1基を解体した場合

出典：旧原子力安全・保安院「原子力施設におけるクリアランス制度の整備について」

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

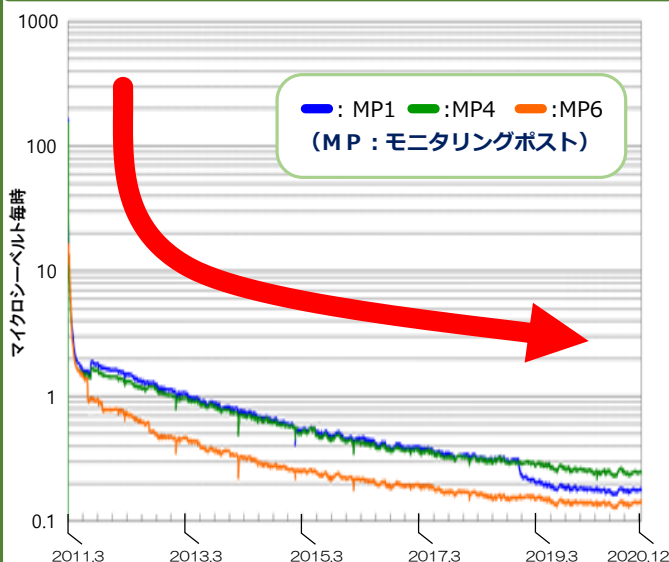
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2021年1月24日 時点

0.08 [MP7] ~ 0.27 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2020年12月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ~ 1.71	楢葉町	0.04 ~ 0.20
広野町	0.05 ~ 0.17	川内村	0.05 ~ 0.25

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2021年1月24日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

冬の町並みをイルミネーションが彩りました

富岡町 YONOMORI まち灯り 2020 場所:旧ヨークベニマル夜ノ森店付近(12月1日~1月31日)



楡葉町 ウィンターイルミネーションならは2020 場所:道の駅ならは (12月18日~1月17日)



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。
今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,163人※です。(2020年12月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約1,000人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	377人	1,482人	1,859人 (86%)
県外	52人	252人	304人 (14%)
合計	429人	1,734人	2,163人 (100%)

編集後記

昨今、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活が一変し大変な環境となりました。

コロナ禍は継続しておりますが、一日でも早く収束し、コロナ前と変わらぬ生活ができることを切に願っております。

地域のみなさまがステイホームする中、手に取ってご覧いただける広報紙作りに努め、今後も引き続き、発電所・地域における便りをタイムリーにお伝えしてまいります。

【山】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー

〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12

TEL 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時~午後5時)

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)